

3 京都大学における情報環境の整備と教育

このような理想的な状況が広く実現するのは紀元2010年あたりまで待たねばならないかもしれないが、現在でもある程度のことは出来る。またこのような情報環境の整備は日進月歩の勢いで進んでいるから、これを積極的に利用するかしないかでいやおうなく大きな差が出て来ることになるだろう。京都大学は全国の国立大学に先駆けて1990年1月学内に高速情報通信網（通称KUINS）を完成させ、学術情報利用の基礎を整備した³⁾。今日では数千台のコンピュータがKUINSに接続され、学内はもとより、国内・国外との情報のやりとりに日夜使用されている。しかし既に述べて来たような情報環境を作ることは急務であり、またこれを十分に活用するためには、大学全体として次のようなことを積極的に推進して行く必要があるだろう。

(a) 新しい情報環境利用のための教育の推進

- ・全学生にコンピュータ利用能力をつけさせる。レポートなどを電子的に送ったり、電子メール討論が自由に出来る能力をつけさせる。

- ・電子図書館や学術情報データベース活用の能力をつけさせる。(図書館情報利用法、データベースの種々とその検索法、情報分類の体系とハイパーテキスト検索等を含む教育)。

- ・マルチメディアシステムを利用した種々の教育システムを開発し、多人数教育ではあっても個人に合った教育が受けられるようにする。これは特に語学教育に有効であり、新しい概念のランゲージラボを提供する。

(b) 学内における情報環境の整備の推進

京都大学には既に種々の学術情報が電子化されており、多くの研究論文が計算機を使って書かれているので、これらをKUINSネットワークに接続して積極的に公開することが望まれる。京都大学便覧や教官

名簿、教官の研究分野などの冊子も電子化し、研究論文などと共に電子的に蓄積し公開すれば、京都大学電子出版発信局の誕生である。

- ・附属図書館を中心とする図書館の持つ情報を少しずつでもよいから出来るだけ速やかに電子化し、高度の情報サービスを提供することによって、利用者自身が必要な情報を自分で検索して自分の情報端末で自由に見ることが出来るようにする。

- ・そのためのKUINSの性能向上と優れた機能を持つマルチメディア端末の導入への努力はいうまでもないことである。

このような形で京都大学の持つ学術情報を広く全世界に発信することによって学問の進歩に貢献することも我々にとって大切な使命ではないだろうか。

1) 例えば、最近の雑誌「情報の科学と技術」44巻1号(1994年1月号)に次のような興味ある論文がある。

戸田慎一：ネットワーク情報資源と図書館・情報サービスの将来

宮崎智：インターネットの公開情報サービスの使い方

佐藤義則：インターネットの利用と大学図書館

広田とし子：インターネットの使い方——大学図書館における活用事例——

2) 電子図書館研究会：電子図書館の未来の姿、1993年12月（この研究会は筆者を含む数名の研究者が3年前から行なっている私的研究会、1994年秋に電子図書館のデモンストレーションを行なう予定）

3) KUINSは京都大学学術情報ネットワーク整備委員会の意向をうけて、京都大学学術ネットワーク機構が運営している。大型計算機センターの中に事務局がある。

お知らせ

図書館利用証を発行します

附属図書館と総合人間学部図書館は、自動入退館システムと、コンピュータ貸出方式（開架図書のみ）をとっており、附属図書館で発行する図書館利用証は、両館の入館証と貸出証を兼ねるものです。また理学部中央図書室の図書の貸出も出来るようになっていきます。

利用証の有効期限は、身分証の有効期限に準じて設定していますので、発行には、申請用紙に氏名、住所等を記入の上、身分証（学生証）の提示を必要とします。

学部学生と修士課程院生は、入学・進学の際の名簿を元に利用証を一括作成してありますので、申請用紙記入後、即時に利用証を受け取る事が出来ます。平成6年度の新入生・新院生の利用証の交付は入学

式の翌日4月12日（火）から開始する予定です。利用案内に挟んである「京都大学図書館利用証交付申請書」に必要事項を書き込み、学生証と共にをお持ち下さい。下記の期間は新入生・新院生を対象とした利用証交付カウンターを設置します。

期間：4月12日（火）～4月28日（木）

9時～12時、13時～16時45分

場所：附属図書館1階

また、前年度以前に入学・進学された方の利用証も作成して保管してありますので、未だ交付を受けていない方は、図書館にお立ち寄りの際に申請して下さい。

上記以外の方（教職員、博士課程院生、研修員、聴講生等）の新規発行と、在籍期限更新による再発行の場合は、利用証作成までに1週間程かかります。利用証の発行申請・交付は下記の時間帯に受け付けています。

時間：月～金 9時～11時45分、13時～16時45分

場所：附属図書館1階 インフォメーションカウンター

利用証を紛失した時は、他者の利用を防ぐ為に必ず「紛失届」を出して下さい。約2週間後に新しい利用証を発行します。また、「紛失届」を出した後、利用証が見つかった場合も必ず届け出て下さい。所属（学部）、姓、住所・電話番号等を変更した時も届を出して下さい。尚、紛失した利用証や旧利用証で、附属図書館または総合人間学部図書館の図書が貸出中の場合は、新しい利用証が作成出来ませんので注意して下さい。

入館の際には必ず利用証を入館機に通して下さい。矢印の方向に正しく挿入してもエラーメッセージが出る時や、入館機の中に利用証が引っかかる時は、利用証を作成し直す事が出来ますので、遠慮無くメインカウンターまで申し出て下さい。（資料運用掛）

新入生オリエンテーションのご案内

昨年度より始められました新入生向けの図書館オリエンテーションが、今年度も下記日程にて開催されます。このオリエンテーションは、ともすれば授業の空き時間や試験時の自習などの、固定的な利用に偏ってしまいがちな図書館の様々なサービス・利

用法をお知らせするために開くものです。オリエンテーションの一環として、利用者用目録（＝OPACという）の検索方法の説明会も開かれます。大学生生活の4年間を楽しく、また有意義なものとするためにも、図書館を積極的に活用しましょう。新入生のみなさん、また興味のある方はどなたでも、ふるってご参加下さい。

【開催日時・場所】

第1部 附属図書館利用案内

日時：4月19日（火）～4月21日（木）の毎日2回

1回目 11:00～11:40

2回目 15:00～15:40

場所：附属図書館AVホール

第2部 OPAC / ILIS検索説明会

日時：4月25日（月）～4月27日（水）の毎日

15:00～15:30

場所：附属図書館カウンター前

【開催内容】

第1部

図書館利用案内ビデオ

利用方法の説明

貸出・返却・予約・更新等

本の探し方（カード・OPACの見方）

他大学相互利用

ビデオ・テープの利用方法

アンケート調査

第2部

OPACの検索方法・データの見方

（参考調査掛）

テレックスサービスを終了します

かねてより参考調査掛にて利用していただいていた国際テレックスの送受信サービスは、国際ファックス等の普及にともない年々その利用が減少し、平成5年度もわずかの利用にとどまりました。そのため附属図書館では、平成6年3月をもってテレックスサービスを終了することになりました。

長い間ご利用いただきありがとうございました。

（参考調査掛）